

## 詩人：宮澤章二（みやざわしょうじ）

- ・大正8年（1919年）6月11日 埼玉県羽生市弥勒に父（友二）母（きみ）の6人兄弟姉妹の長男として生まれる。三田ヶ谷小学校2年終了時とともに上京し、東京日本橋箱崎小学校を卒業する。その後、東京府立中学校、同高等学校を卒業。中学校時代には、映画監督になろうと思い立ち、往復の運賃だけもって京都まで行き映画の監督に頼み込んだという。しかし、その監督に「学校を卒業してからでも遅くない」と諭され泣く泣く引き返したというエピソードがある。
- ・高校卒業後は、東京帝国大学経済学部に進学。大学2年のとき文学部に転部し、昭和18年に卒業。昭和17年、旧姓岡戸房子氏と結婚した。当時は戦争中で、章二氏も徴用として軍事工場に奉職し終戦を迎える。
- ・昭和22年から4年間埼玉県立不動岡高等学校で国語の教師として教鞭を執った。この時期に旧大利根町（現加須市）に疎開していた作曲家「下総皖一」氏と出会い、校歌等の作詩を手がけるようになる。昭和27年以降は、東京に居を移し、NHKラジオ歌謡の作詩、放送台本の執筆などを手がけ本格的に文筆活動に入る。
- ・昭和32年に旧大宮市（現さいたま市）に転居してからは、童謡・合唱曲・校歌・社歌・市民歌の作詞や、童謡の執筆にあたる。「ジングルベル」の訳詞もこのころである。その後自由詩も次々に発表し、詩集の刊行も10数冊に及んだ。校歌の作詩は、埼玉県内外の小・中・高校を中心に300校以上ともいわれる。昭和36年からは、旧大宮市教育委員そして教育委員長を務めた。
- ・平成17年3月11日85歳にて永眠。
- ・詩『行為の意味』の一節、「心は見えないけれど、心づかいは見える。 思いは見えないけれど、思いやりは見える」が、ACジャパンの2010年度キャンペーンCMに使用された。東日本大震災後このCMが頻繁に放映され全国的に有名となる。

### 受賞

- ・教育文化功労者表彰 日本童謡賞 埼玉文化賞 赤い鳥文学賞特別賞  
埼玉県文化功労者表彰 地域文化功労者表彰 大宮市文化賞  
下総皖一音楽特別賞 羽生市民栄誉賞。